



日赤 地域の声に耳を 知事「病院中心に検討」

11日、高知赤十字病院移転問題についてたまたみ田の議員に対し知事は、地域の声は真摯に受け止めなければならない、今後も丁寧に説明し、日赤のあとは病院を中心に検討を詰める、との考えを示しました。

第一病院が同地への移転を希望し耐震済みの南館で260床、北の本館は解体し耐震用電源等の施設整備を図ると、共産党議員団への報告がありました。

重度障害児の通学 支援を県が検討

中澤県教育長は、重度障害児の通学についての質問に、保護者の負担軽減ができるよう県独自に検討する考えを示しました。介助者を必要とし介護タクシーを学校の送迎に利用する場合などへの公的支援への十分な対応が急がれます。

土電凍結予算解除は 生まれ変わる必要

土電の予算凍結に関して県の姿勢を質しました。岩城副知事は、解除するには県民の目にも土電が生まれ変わったと見える形で示される

信頼回復が必要と、厳しい姿勢で臨む姿勢を示しました。

高校授業料無償 教育費の軽減を



県議会開会の6日、行き届いた教育を求める6万7

千人近くの署名が県知事と県議会議長に提出されました。議会棟前で提出集会が開かれ、続いて県議会議長を訪れ、署名が手渡されました。17日には該当する常任委員会で、請願者の皆さんによる陳情も行われ、閉会日の本会議での採択を求めています。



2割負担や入院給食費自己負担、介護保険利用負担2割へなど社会保障の改悪法案も強行。一方、軍備増強で戦争への足音が、しかし、直後から安倍政権への支持率は、10%も急落。来年は、この政権を追い落とす年に！よいお年をお迎えください。



キラリンにゃんでも通信

★今年もあと一〇日。夏の参議院での日本共産党の四国比例議席奪還と東京、大阪、京都での勝利に危機感を持った安倍政権。今のうちに...と暴走を加速。
特定秘密保護法案との闘いさなか、高校授業料無償化が無くなり、年金は12月支給から1%減、70〜74歳の医療費窓口2割負担や入院給食費自己負担、介護保険利用負担2割へなど社会保障の改悪法案も強行。一方、軍備増強で戦争への足音が、しかし、直後から安倍政権への支持率は、10%も急落。来年は、この政権を追い落とす年に！よいお年をお迎えください。